



南産発 第141号
平成19年4月26日

国土交通省 道路局長様
(熊本河川国道事務所気付)

熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場143

南小国町長 河津修司



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり要望書を提出致しますのでよろしくお願いいたします。また今後ともご厚志賜りますようよろしくお願いいたします。

国土交通省 道路局長様

要 望 書

道路整備の中期計画に対する要望

平成19年4月

熊本県 南小国町

道路整備の中期的計画に対する要望

南小国町長 河津修司



<現状と課題>

私たちの南小国町は、九州のほぼ中央に位置し阿蘇くじゅう国立公園の中間部にあつて絶景の自然環境景観を有し、黒川温泉を始めとした温泉群も併せ持つ一級観光地であります。一千万人以上訪れる阿蘇くじゅう国立公園全体は非常に広域の観光地でもあるため、本町は人気の滞留目的地点ですが通過地点でもあります。また、近年は韓国や中国、台湾からの観光客も増加の一途となっております。

九州各都市から本町へのアクセスは車以外の方法はなく、最大観光客数である福岡方面から約 100Km を 3 時間以上必要としています。現在の交通アクセス事情は、

- (一) 西南方面となる熊本方面からは、国道 57 号の整備が遅れているため、休祭日には慢性的渋滞が発生し、旅行計画自体が立てられない等の支障をきたしている。
- (二) 北の福岡（日田市）方面からは、国道 212 号がダム関連道路で作られたもので峽歪絶壁が延々と続く危険極まりない道路であり、来訪者に大きな恐怖感を与えている。
- (三) 東の大分方面から西の久留米市方面に抜けるは国道 442 号などいずれも整備率が低く、整備完了まではまだ多くの年数を要する。国立公園の中心部を通る道路にしては道路欠陥による事故も多く、景観も活かしきれていない。

というように交通アクセスは、東西南北いずれの方向も未だ発展途上国といったところですが。国民に人気の観光地としてはお粗末なものであり、まだまだ基幹道の景観整備も兼ねた重点的整備が急がれるのが現状です。

町管内では、県道、町道を問わず集落を結ぶ基幹道路の未整備、未着手区間も多く存在します。投資的事業の中心的政策だった地方道路整備が、中途から転換を強いられた結果このような状況が続いております。少子化や町村合併などにより学校、病院などの施設が整理されつつある現況では、巡回バスなど交通体系の見直しも必要であり、今後の地方集落の存続に最低限のインフラ整備として道路整備は必ず実施しなければなりません。

このように、町の動脈、静脈である道路整備に期待するものは、これまでと何ら変わらず、早急な対策を願っているのが実情であります。

もう一つの重要な課題が地方財政財源問題です。本町でも税制改革や町の行財政改革の結果、投資的財源の不足という問題に直面しています。投資的事業の減は町の活性化にもブレーキをかけます。上記のような道路整備目標や維持管理を実施するには、十分な国からの交付金の配分や起債枠の確保などの財源措置が必要不可欠です。

以上のことから、この道路整備の中期計画にあたり、道路特定財源のあり方も含めて次のような要望をしますので宜しく願いいたします。

<要望事項>

- 1、地方道路整備財源の拡充を図り、国、県、市町村あげて次の重点政策を目指すよう取り組むこと。
 - (一) 国道、県道等幹線道路の都市間や観光地とのアクセス速度のアップと災害安全対策の整備促進
 - (二) 生活関連道路全体を道路構造令に沿った整備を実施することとし、改良率100%を目指すための諸政策に取り組むこと。
 - (三) 前項の政策は、集落の存続が国土の荒廃を防ぎ農村政策にも関連するため、優先順位を都市部対策と対等とすること。
 - (四) 観光関連道路を景観環境整備も含めた整備計画により、世界からの観光客にアピールできる計画として実施すること。
- 2、施策の集中的実施により道路整備の目的達成速度をあげること。
- 3、市町村道路整備に対する交付金配分のアップと過疎債等の起債充実の働きかけを行い、自主的改良事業への支援をお願いしたい。
- 4、舗装改築など高額維持管理費について、道路特定財源からの予算補充をお願いしたい。

以上、要望します。

平成19年4月26日

熊本県阿蘇郡南小国町大字赤馬場143
南小国町長 河津修司

国土交通省 道路局長様

